



令和8年度 公開講座


家族支援の実践実技講座

家族支援は、福祉の分野に限らず重要な課題になっています。これまで家族をシステムとして捉え、関係性の視点から問題の評定と介入を試みる支援は、県内の福祉実践においても他の分野においても主流ではありませんでした。しかし現在は、子育て支援や児童虐待等の課題解決には、家族支援の知識と技術が不可欠となってきました。そこで本講座では、欧米で 1960 年代後半から活発に議論されてきた、家族療法の最新の知識と技術を学ぶ機会を提供します。そして日常の実践へ応用させていけるように、実践的に学ぶプログラムにします。

日時	令和8年 7月 5日(日) 10時00分～16時00分 8月16日(日) 10時00分～16時00分 9月13日(日) 10時00分～16時00分 10月18日(日) 10時00分～16時00分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 人間福祉学コース 准教授 大下 由美
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館4502-4505、4601 (三原市学園町1-1)
対象	家族支援に関わる専門職
定員	5名
受講料	8,200円
申込締切	令和8年6月12日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和8年度公開講座「家族支援の実践実技講座」

内容	1	家族支援のための基礎理論	大下 由美
	<p>家族を一つのシステムとして捉え、システムの変化に関する基礎的な考え方を学びます。さまざまな社会生活上の問題は、家族システムという視点から捉えなおすと、関わりの問題としてみえてきます。この視点から、家族内で生じる問題（児童虐待や家庭内暴力など）を、日常のコミュニケーション過程のパターンから見る方法を学修します。</p>		
	2	家族システムの変容論	大下 由美
	<p>家族的関係をシステム（相互作用）で捉える視点の復習を行いつつ、システム内で生じている悪循環過程を評定し、変容する方法について学びます。典型的な問題パターンを例示し、単純な問題の評定、それに基づく介入計画、そして変化を生成する介入段階や基本的な技法（質問法）について学習します。</p>		
	3	家族システムの評定と介入に関する基礎知識	大下 由美
受講条件	<p>受講者の領域に関連のある事例を参考にして、家族的関係の中で生じる問題を、クライアントとの対話を通して評定する方法を具体的に学びます。その際、支援者が選択する言葉やクライアントのメッセージの構成法が、クライアントの問題解決にどう影響するのか、そして、クライアントの問題解決の可能性を、コミュニケーション過程で高めていく具体的な方法を学びます。</p>		
	4	家族システムへの介入技法の基礎知識	大下 由美
	<p>家族的関係の中で生じた問題を、対話を通して解決していく過程を実践的に学びます。実際に問題解決に至った事例の逐語記録を用い、使用技法について解説をします。その後、受講者同士で、逐語記録を参考に、問題解決に向かう対話を実演してもらい、技法の使い方、解決文脈の作り方など、実践的な学習を行います。</p>		
申込方法	<p>・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。</p> <p>・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。</p> <p>・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。</p> <p>・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違うと感じる場合、出席をご遠慮ください。</p> <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p> <p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。 https://forms.cloud.microsoft/r/SubmP4PMQv</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター